

はりま議会だより 200号までの歩み

昭和44年8月号創刊以来、議会と住民のみなさんを結ぶ架け橋として議会だよりが今号で200号の発行となりました。これまでの変遷を議会広報誌コンクールでの受賞で振り返ってみました。

41年前を思い出す



村津 雅夫 元議員

昭和42年4月から町議会議員を3期務められ、はりま議会だよりの草分け的存在の方です。

「議会だより」200号おめでとうございませう。編集委員さんから1号発行を思い出して

れと頼まれ、昭和44年8月の現物も読みました。森崎福松議長から松本幸良氏・三谷川静雄氏と私が「編集雑務

を命じられた」のですが、三人は亡くなられたので私が執筆します。当時、私は新米議員でした。地元で議会や公害の報告会を何回か開くとともに、思い切った私の「議会だより」を手書きガリ版(?)で出し、自分で配りまし

た。誰もされていなかったので議員各位も見過ぎしません。私が2、3回配った頃、議会に出そうという空気になりました。私もしんどかったし、字も汚いし、遠慮もあったので提案者側になりました。創刊号のあいさつに

「生き生きとした、よくわかる、親切な、偏らない新聞にしたい」と書いています。B4表裏1枚黒刷り写真なしですが、読んでみるとこの宣言が生きています。一般質問の報告は簡単すぎましたけどね。

第141号
平成9年4月24日発行
町議会広報誌コンクール=佳作
ふるさと川の整備事業で喜瀬川がきれいになりました。



第100号
昭和63年10月24日発行
下水道事業着工へ。野添地区から始まる。



創刊号
昭和44年8月20日発行
当時、住民の皆様と議会が緊密な関係を保つため「議会だより」を発行。1色刷りからのスタートでした。



第50号
昭和53年10月16日発行
野添コミュニティセンターや播磨南中学校の建設、播磨小学校体育館の改築など経済成長と人口増に伴い建築ラッシュ。



第121号
平成5年1月24日発行
カラー表紙になりました。
中国天津市和平区との友好都市提携を可決。



第155号
平成12年4月24日発行
3年連続町村議会広報全国コンクールで入賞(奨励賞)、県コンクール=兵庫ジャーナル特別賞
町の年間予算を円グラフでわかりやすく掲載しました。



第182号
平成18年4月24日発行
町議会広報誌コンクール=特別・中央文化社賞
この年、「大中遺跡公園」を建設。

受賞歴	
平成9年度 No.141	兵庫県=佳作
平成10年度 No.146	兵庫県=入選 全国=入選
平成11年度 No.150	兵庫県=特選 全国=入選
平成12年度 No.155	兵庫県=兵庫ジャーナル特別賞 全国=佳作
平成13年度 No.159	兵庫県=優秀賞 全国=奨励賞
平成14年度 No.164	兵庫県=優秀賞 全国=優秀賞
平成15年度 No.168	兵庫県=入選
平成16年度 No.173	兵庫県=特別・中央文化社賞 全国=奨励賞
平成17年度 No.177	兵庫県=特別・兵庫ジャーナル賞 全国=優秀賞
平成18年度 No.182	兵庫県=特別・中央文化社賞
平成19年度 No.184	兵庫県=特別・兵庫ジャーナル賞

親しまれ、愛される議会だよりへ

創刊